

YMCA韓国語講座とYMCA東京日本語学校からのお知らせ

【ソウル・建国大学で学ぶ韓国語 2014】

한국대학교 언어교육원
언어의 힘으로 세계를 하나로
Unite the world with your knowledge of language!
2014年7月27日(日)～8月2日(土)
81,200円 現地集合 現地解散
海外旅行保険・航空運賃別途

建国大学で学ぶ韓国語 2014

7/27(日)～8/2(土)にソウルで韓国語の研修を行います。現地集合、現地解散。午後は自由時間です。詳しくは韓国語講座(03-3233-0614)までお問い合わせください。

【お友達紹介キャンペーン】

入会費手数料 11,000円
★免除!!
お友達ご紹介 キャンペーン
5,000円 割引!!

Y M C A

お知らせをご紹介します。

ご紹介した方 入会費手数料 5,000円 割引!!

ご紹介された方 入会費手数料 11,000円 免除!!

Y M C A 韓国語講座

YMCA韓国語講座の会員がお知り合いをご紹介くださると次の学期の授業料をなんと5,000円割引!! お友達の入会登録手数料11,000円も免除です。詳しくは韓国語講座(03-3233-0614)までお問い合わせください。

今後の予定 2014年6月～2014年8月

【在日本韓国YMCA】

- 7/1(火)第1回理事会(大阪・関西韓国YMCA)

【東京韓国YMCA】

- 7/2(水)日本語学校7月期入学始業式
- 7/7(月)第234回教界指導者朝餐祈祷会
- 7/8(火)第2回理事会
- 7/14(月)～8/1(金)日本語学校 夏の東京体験
- 7/27(日)～8/2(土)建国大学で学ぶ韓国語(ソウル現地研修)
- 8/15(金)～17(日)池成子先生招請 民謡・カヤグム講習会(予定)

【関西韓国YMCA】

- 6/6(金)、6/19(木)日本語サロン
- 6/22(日)生野地区教会一致祈祷会(KCCJ布施教会)
- 6/23(月)枚方市多文化共生教育研究会講演(金弘明、リーダー)
- 7/1(火)創立40周年記念感謝礼拝・祝賀会
- 7/5(土)四季を彩る韓国料理「タンビョンチュエとオミジャファチエ」
- 7/11(金)第115回YMCA教界指導者早天祈祷会
- 7/12(土)第2回理事会
- 7/26(土)～27(日)枚方サマースクール(枚方市野外活動センター)
- 8/26(火)生野つながりデイキャンプ(紀泉わいわい村)

YMCA 東京日本語学校学生募集中

【編集後記】

- 最近マクラを変えたらめっちゃよく寝るようになりました。寝すぎて困ってます。五月病？(才)
- 故国から悲しいニュースが飛び込んだ時は言葉では表しきれない気持ちの毎日でした。反省と改善を切実に願います。(朴)
- 最近のマイブームはインドネシア語。ジャカルタの街角で片言の質問が通じてうれしかったです。(た)
- 事故や事件や災害。直接できることはなくても、忘れないことはできません。それはそれぞれとして将棋が強くなるには勉強しありません。(白)
- 梅雨が近づいてるせいか、髪の毛の頭が爆発して毎日大変です。(U)

KAKEHASHI かけはし 2014 June vol.15
発行人：金秀男 発行：在日本韓国YMCAアジア青少年センター
〒101-0064 東京都千代田区猿樂町 2-5-5
TEL: 03-3233-0611 FAX: 03-3233-0633
http://www.ymcajapan.org/ayc/jp/
ayc@ymcajapan.org

Y M C A

『かけはし』次号は2014年9月発行予定です。

Twitter: @zainichiymca Facebook: Korean YMCA in Japan
より良い紙面つくりのために、ご意見・ご感想等お寄せください。

Y M C A 在日本韓国YMCA
アジア青少年センター
Korean YMCA in Japan
Asia Youth Center

かけはし

関西韓国YMCA創立40周年を迎えるに際し

在日本韓国YMCA 総務 金秀男



創立総会の様子

主の御名を讃美いたします。常日頃より、祈りのうちにYMCAの働きを覚え、ご支援くださっていることに改めて感謝いたします。

在日本韓国YMCAは、祖国が亡国の危機にあった1906年、在日留学生を対象にキリスト教信仰に堅く立った指導者を養成するという明確な目的を持って東京に設立されました。1919年の3.1独立運動の導火線となった「2.8独立宣言」に象徴されるように、多くの有為な指導者を輩出し、祖国の独立とその後の歩みに大きく貢献しました。またその創立から2年後には、在日大韓基督教会最初の東京教会を生み出し、過酷な日本による植民地統治時代、解放後の東西冷戦による南北分断という苦難の時代を教会とともに歩んできました。

戦後、在日コリアン定住化の流れの中、民族差別とアイデンティティ・クライシスに呻吟していた二世の時代を迎え、『キリストに従ってこの世へ』を掲げた在日大韓基督教会宣教60周年を期して、在日コリアン集住地である大阪生野区に設立される大阪

KCC(在日韓国基督教会館)と歩を合わせ、旧関西西地方会(現関西西地方会と西部地方会)の祈りと支えによって関西韓国YMCAが誕生、今年7月には記念すべき創立40周年を迎えます。牛歩の歩みながら、主の導きと多くの賛同者のご協力により1980年には会館も与えられ、現在『在日同胞文化の創造と多文化共生社会に向けて』をスローガンに種々の活動を展開しています。



関西韓国YMCA恒例の「YMCAフェスティバル」

関西韓国YMCAでは40周年を迎えるに際し、これまで果たしてきた在日コリアンセンター、地域の人権・福祉・文化センターとしての役割を更に拡充し、深刻な分裂と対立の時代にあつて、真の「和解と共生」の実現に向けて事業活動を展開拡充していき

ます。今後とも、物心両面にわたるご支援を賜りますよう衷心よりお願い申し上げます。

関西韓国YMCA 創立40周年 記念 感謝礼拝・祝賀会

日時:7月1日(火)午後6時
場所:大阪クリスチャンセンター

聖書に聴く 第15回

有住航 牧師(あらずみ・わたる/日本キリスト教団早稲田教会)

5月17日に行われた第6回オーリーブ映画祭で念願だった『自由と壁とヒップホップ』を観ることができた。〈パレスチナのヒップホップ〉という若者の日常実践の追いかける中で、イスラエルの占領下にあるパレスチナの歴史と現在、「48年組」と「67年組」の葛藤、ガザの過酷な状況、ジェンダーによる差別と抑圧という事柄が複雑に絡み合いながら映し出されていたのが印象的だった。

2007年に初めてパレスチナを訪れたとき、現地の青年たちと共にパレスチナ自治区内を毎日バスで移動していたわたしの目に嫌というほど飛び込んできたのが「分離壁」と呼ばれる不気味なコンクリート壁だった。監獄を連想させる分離壁の異様さは見るものを圧倒し、絶望的な気分させる。映画の中で、DAMのターメルは分離壁の前でこう語る。「分離壁の前では自分がちっぽけな存在に思える。自分が乗り越えなさいいけない敵は、この分離壁くらい巨大なんだ。」

エフェソ書2章14節において、「敵意」は「隔ての壁」と表

現されている。人間の憎悪・差別によって生み出される敵意が、人と人を隔てていく「壁」となるのだという。分離壁とはまさにイスラエル政府のパレスチナに対する「敵意の具現化」に他ならない。

「壁」というものが人間の中にある敵意の具現化なのだと思えば、日本社会に生きるわたしたちの周りにも、敵意が生み出す壁が無数のように張り巡らされている。近年のヘイトスピーチをめぐる状況もそんな「敵意」の具現化なのだと思う。

絶えず壁の向こう側を想像し、何度も何度もその壁を乗り越えていこうとするラッパーたちの姿と言葉はまるで「壁を築くときの漆喰を上塗りする者に言いなさい。『それは、はがれ落ちる』』と語ったエゼキエルの預言のようだ。

「敵意という隔ての壁」を取り壊し、平和をもたらすキリストの働きに、壁を壊すための預言者的な働きにわたしたちも連なる者でありたいと心から願う。

【YMCA 東京日本語学校 夏の東京体験】



7/14(月)～8/1(金)に日本語と日本を学びに、台湾、韓国、香港などから学生たちがやってきます。

ホームステイ(一泊二日)の受け入れと、都内同行ボランティア募集中です。詳しくはYMCA東京日本語学校(03-3233-0615)までお問い合わせください。

2014年5月までのその他の活動

日本語学校 4 月期開講



4月期の日本語学校には87名の学生が集まり、4月9日に入学始業式が行われました。式の後は、クラスごとに北の丸公園まで出かけ、全員いっしょに、たいへん見事な桜吹雪を体験することができました。

土曜学級「同窓会」開催



1980年代からおよそ20年間にわたり、在日コリアンの子どもたちを対象としたプログラム「土曜学級」が行われていましたが、現在海外に在住している当時のメンバーの一時帰国を機に、主に1990年代当時のメンバー、リーダーたちが集まって5月16日「同窓会」を行いました。

かつて小学生だったメンバーたちも、皆、社会人となり、中には子どもを連れてきた人もいました。参加者たちは今後の定期的な再会を約束していました。また、親子キャンプなどの新しいプログラムの開催を求める声も上がっていました。

連載 東京の中の韓国を巡る【第7回・～在日韓人歴史資料館～】

才門勇介(「かけはし」編集委員)

「東京の韓国を巡る」第7回は、在日韓人歴史資料館(東京都港区南麻布1-7-32 韓国中央会館 別館)にお邪魔しました。建物の前には青と白の警察のバス、エントランスでは金属探知機、そしてホールには沈没事故の慰霊の祭壇があり、その物々しくも厳かな雰囲気に飲まれ気味にエレベーターで受付のある3階に。



受付の方に案内され2階の展示室に入るやいなや、その迫力に圧倒され、引き込まれました。展示室自体は普通の部屋で、解説パネルも一見普通です。ただ、一段違う迫力。それは史実としての解説のみではなく、リアルが伝わる展示物にありました。



朝鮮銀行券、密航した時の旅行鞆という象徴的なものだけにとどまらず、例えば、当時の通知表「創氏改名」を史実としては知っていても、1学期は李茂炯(本名)だったものが、2学期以降、本名が縦線2本で消され武田茂(通名)に変えられている現物を目の当たりにすると、その名前を変えられた時の子供の気

持ちにまで思いが及びます。また、関東大震災時の朝鮮人虐殺の解説でも、その検問で使われた「15円50銭と言え」という言葉があるだけでいっそうリアルなものとして感じられます。

資料館の展示全体がこのようリアルを醸し出しています。展示室は第1～3展示室に分けられ、基本的に時系列に並んでいます。第1展示室は、日本へ来たいきさつ、植民地化、第2展示室が、解放して差別、在日社会、そして第3展示室、屋外テラスには生活用具等で生活様式や商店の様子が再現されています。

在日100年の歴史その実態、本物が展示されています。資料館に展示されているものはそのほとんどが個人の寄進だそうです。そのため生々しく雄弁で、本当に実在する一人一人の歴史そのものです。

ホームページには姜徳相館長のメッセージとして、「若い世代にとって資料館に展示しているものすべてが祖父母時代の歴史証明であり、一つ一つが じぶんの、ルーツを知る歴史書であります。資料館は祖父母の時代を思い涙をする感性を磨く場であります。展示を30分見るだけで祖父母の自叙伝を、在日の歴史書を一冊読んだと言えます」とあります。

私もまさに、祖母の昔話を思い出し、生きてきた時代に思いを馳せながら、リアルに感じ、意識したことのない在日としての母までを感じることとなりました。

まさに世代を超えて伝える、感じさせる「かけはし」。残念ながら館内は写真撮影禁止のため、その雰囲気を伝える事はできませんが、是非、特に若い世代の人には直接行って、見て、感じてほしい。そうすべきものだと思います。その価値はあります。

また、今回お邪魔した時、企画展(～6/14)として安世鴻写真展「重重 中国に残された朝鮮人日本軍「慰安婦」が開催されており、中国各地の朝鮮人元「慰安婦」ハルモニたちの暮らしを白黒写真で表現した力強い作品が展示されていました。

その他企画や講演会勉強会等も行われているので、展示内容についても詳細な解説とともにその空気感に触れることができるホームページをチェックしてみてください。

<http://www.j-koreans.org/index.html>

東日本大震災救援・復興募金継続実施中

募金の送り先

窓口持参または郵便振替で下記にご送金ください。
(「東日本大震災募金」とご記入下さい)。
00190-4-539049 在日本韓国 YMCA

東日本大震災の被災地支援を目的として「YMCA東日本大震災救援・復興募金」を引き続き受け付けております。

2014年3月～5月のプログラム

2014年度定期会員総会開催される(東京・関西)



【東京韓国YMCA】
東京韓国YMCAの2014年度定期会員総会が5月17日(土)に行われました。李清吉牧師が「働かれる神」と題するメッセージを伝えた1部敬虔会に続き、2部では一年間の事業・決算報告及び事業計画・予算報告などが承認されました。特に、大震災より3年を経てようやく回復軌道に乗り始めたことについて、理事、会員、教会、他YMCAへの感謝の言葉が述べられました。
続いて、改選を迎えた理事5名の選出が行われ、裴重度、三橋博美、才門正男、佐藤信行(以上再選)、金性済(新任、在日大韓基督教名古屋教会牧師)の各会員が3年任期の新理事として選ばれました。また、和氣三郎監事の再任(任期2年)も承認されました。総会終了後に行われた第1回理事会では、鄭順葉理事が東京韓国YMCAの新代表理事に選出されました。

【関西韓国YMCA】
関西韓国YMCAの2014年定期会員総会が5月24日(土)に行われました。2013年度事業報告と決算、2014年度事業計画と予算が承認され、改選期にあたる理事5名は引き続き金武士、金鍾億、全聖三、鄭朝子、田川和樹理事が選出され、任期途中で辞任された理事に代わり今まで監事の任にあった金成元会員(新任、KCC館長)が選出されました。また監事には新たに金光郁、房政男(2名とも新任)会員が選出されました。

東京韓国YMCAの活動

第6回オリーブ平和映画祭開催



5月17日(土)第6回オリーブ平和映画祭が、YMCAと東京センテニアルYサービスクラブ(ワイズメンズクラブ)との共催で行われました。
本会が交流を続けている東エルサレムYMCAの活動地域であるパレスチナの現状を広く伝えることを目的として、毎年5月に、パレスチナを扱ったドキュメンタリー映画の上映を行ってきた同映画祭は、今回で6回目を迎えました。今回の上映作品は、日本で昨年一般公開されたばかりの「自由と壁とヒップホップ」(2008年、パレスチナ・アメリカ)でした。ヒップホップを通じて非暴力的な抵抗運動を続ける現地の青年たちの姿を追った本作品は、ご覧いただいた皆さんよりたいへん高い評価をいただきました(1面「聖書に聴く」参照)。

また、映画本編上映後には、東エルサレムYMCA・パレスチナYWCAが主催するオリーブ収穫プログラムに参加した、森小百合さん(日本YMCA同盟 学生YMCA 担当スタッフ)と堀真悟さん(早稲田大学大学院生)による、現地訪問報告も行われました。森さんは東エルサレムYMCAの働きについて、堀さんは映画で取り上げられたヒップホップについて、それぞれ中心的に語っていただきましたが、いずれの報告も映画の内容理解を深める上でとてもよかったとの声が多く聞かれました。

映画祭の収益、および会場で販売された東エルサレムYMCAで製作されたオリーブクラフト等の売上は、現地で行われる子どもプログラム支援のために用いられます。

関西韓国YMCAの活動

「四季を彩る韓国料理(クジョルパンとファジョン)」



昨年度に新たに始まった料理教室「四季を彩る韓国料理」を締めくくったのは3月8日に行われた「九節板(クジョルパン)と花煎(ファジョン)」でした。このプログラムもみなさんに知られるようになったのか早くに定員がうまり、遠くは岐阜からの参加者もいました。九節板は器の中央に置いた小麦粉と卵で作ったミルジョンピョン(クレープ状のもの)に、周りに置く牛肉やえび、野菜など8種類の具から好みのものをのせて楽しめます。花煎は桃の節句に焼きますが、手に入りにくいチンダルレ(つつじ)の代わりにエディブルフラワーとなつめを使い、最後にとろみのあるシロップで照りをつけると色鮮やかになりました。

講師の高杏子(こう・へんじゃ)先生の明るく親しみやすい指導で一つ一つの具を丁寧に作り、最後にうつわに盛り付けられた華やかさのため息がもれるほどで、試食が始まってもなかなか箸がつけられませんでした。美しくおいしい料理をいただき大変幸せな時間となりました。

生野地域活動協議会会長交代

4月7日、関西韓国YMCAが事務局を担っている生野地域活動協議会の委員会が行なわれました。今年度のプログラムについて協議がなされた他、1996年に日本基督教団大阪聖和教会に赴任されてから協議会に参加、1998年から長年に渡り会長を務めていただいた向井希夫牧師が5月から広島流川教会へ転任されることになったため、同教会役員で地活協委員として1994年よりご奉仕いただいている長崎由美子さんに後任の会長を引受けていただくことになりました。新会長の下、新しいメンバーも加わって新しい展開が期待されます。